



AIを活用したパーソナライズドバンキングサービスのビジネスモデル検証を開始 ～小売業やサービス業などの異業種企業と幅広く連携～

株式会社みずほ銀行(頭取:藤原 弘治、以下「みずほ銀行」)、および株式会社Blue Lab (注1)(代表取締役社長:向井 英伸、以下「Blue Lab」と富士通株式会社(代表取締役社長:時田 隆仁、以下「富士通」)は、異業種企業の協力を得て、AIを活用したパーソナライズドバンキングサービスのビジネスモデル検証を本日より開始します。

近年、銀行のサービス利用形態は、営業店舗だけでなく、スマートフォンアプリやウェブサービスなど多岐に渡っており、残高照会や口座振替などの既存の銀行サービスに加え、個人ごとの金融状況や購買行動に基づく個々の生活に密着したパーソナライズドバンキングサービスへのニーズが急速に高まっています。

パーソナライズドバンキングサービスとは、利用者の同意を前提に、AI技術を活用して、利用者一人一人の金融取引状況と、本人の金融リテラシーや消費習慣を洞察することに加え、リアルタイムに家計状況を分析することで、今後の収入や支出を予測するものです。また、利用者に対し、最適な金融行動をアドバイスして、それらの金融行動と関連する生活情報のレコメンデーションも行います。

今回の検証は、2018年度にBlue Labと富士通が実施した検証(後述)の結果を受けて、新たに小売業やサービス業などの異業種企業と連携のもと販促情報提供等の機能改善し、実サービス提供に向けて検証を行うもので、前回同様、マネーツリー株式会社(注2)の協力により使用承諾を得た個人金融情報、およびPersonetics Technologies Ltd.(注3)のAIレコメンデーションソリューション「Personetics Engage(注4)」を活用します。

みずほ銀行、Blue Lab、富士通は、業種・業態の垣根を超え、金融機関に新たな収益をもたらすAIを活用したパーソナライズドバンキングサービスのビジネスモデルの創出を目指します。

【実施概要】

1. 期間

2019年9月10日から2020年2月29日

2. 実施内容

前回の検証の結果から、より使いやすいUI/UXへの改善等を実施しています。ポイントは以下の5点です。

- (1)アラートやアドバイス、レコメンデーションの改善
- (2)同一属性者の金融行動との比較および改善アドバイスの提示
- (3)スマートフォンアプリの活用
- (4)小売・サービス業などの異業種企業連携のもと販促情報を提供
- (5)金融情報活用範囲の拡大(証券口座情報の考慮)

3. 参加者

みずほ銀行および株式会社みずほフィナンシャルグループ、Blue Lab、富士通および富士通のグループ会社の社員、販促情報を提供する連携先企業の社員 合計約 300 人

【パーソナライズドバンキングサービスで活用する情報とアドバイスの例】

■インプット情報

Moneytree

■ 投入する金融データ
利用者の口座残高、口座入出金明細、クレジットカード/デビットカード利用明細、アカウント種別（普通、定期、総合口座、クレジットカード、デビットカード） など

■ 分類する利用者の家計収支のカテゴリ

支出
食費、外食、光熱費、通信、住宅、交通、交際費、レジャー、買い物、車、メディア、医療・健康、パーソナルケア、子供・教育、税金、投資、返済 など

収入
給料、収入 など

項目	金額
先月 1/1 ~ 1/31	-¥82,663
レジャー	-¥54,868
電車	-¥6,000
タクシー	-¥5,160
コンビニ	-¥4,685
外食	-¥2,940
交際費	-¥2,500
本・雑誌	-¥2,000
	-¥1,550
	-¥1,000

利用者募集サイト

■ 利用者の属性分類
(募集時のアンケートで取得)

性別、年代、住居区分、居住地域、趣味、婚姻ステータス、家族形態

■アウトプット情報

パーソナライズドバンキングサービス

■ 利用者の金融状況パターン、消費行動パターン
残高不足、貯蓄タイミング、貯蓄以外の資産形成タイミング、特定支出カテゴリの利用増減、特定収入カテゴリの支払増減、特定店舗の利用増減と過去の利用実績、特定属性の利用高低、海外渡航の有無、利用中サービスの有効期限 など

■ 家計健全化と資産形成のアドバイス
資金移動・インスタントローンの提案、貯蓄額と方法の提案、資産形成方法の提案、特定支出カテゴリの予算設定の提案、家計見直し提案、特定店舗のお得情報、最適な支出管理アドバイス、サービスの見直し提案 など

■ 生活向上につながるアドバイス

【 2018 年度に Blue Lab と富士通が実施した検証結果】

2018 年 10 月 17 日から 2019 年 3 月 26 日に実施した検証では、本人の同意を得た後に、マネーツリー株式会社様の協力により得られた個人資産データ(口座残高、入出金実績、クレジットカード明細)をもとに、「Personetics Engage」が生成するアラートやアドバイスを、実証参加者 248 人のスマートフォンの専用画面などへ提供し、下記の評価を得ました。

＜実験参加者による利用意欲の評価＞

- ・配信されたレコメンデーションの有益性について: 66%の参加者が肯定的
- ・現行機能で正式リリース後の利用意欲について: 71%の参加者が肯定的
- ・日本市場に特化した機能改善後の利用意欲について: 86%の参加者が肯定的

【 商標について 】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【 注釈 】

- (注1) 株式会社Blue Lab:みずほ銀行が出資する新規ビジネス創出企業。2017年6月設立。
- (注2) マネーツリー株式会社:本社:東京都港区、代表取締役:ポール チャップマン。金融資産を一元管理できる個人資産管理サービス「Moneytree」および企業向けの金融インフラサービス「MT LINK」を提供。今回協力いただいた「MT LINK」では、国内2,700社以上の銀行口座、クレジットカード、電子マネー、マイル・ポイントカード、証券口座の金融データを集約するAPIを提供。
- (注3) Personetics Technologies Ltd.:本社:イスラエル テルアビブ、CEO:David Sosna。2010年創立のイスラエル発スタートアップ企業。世界各国のリーディングバンクに豊富な導入実績があり、世界で6,000万人以上の利用者を持つ。日本市場へは未導入。
- (注4) Personetics Engage:Personeticsが提供する複合的なAI技術により、ユーザープロファイリング、金融行動パターン認識、レコメンデーション最適化、キャッシュフロー予測などを行うことで、個人金融資産(現金・預金、株式、財務証券、保険・年金・定期保証、投資信託など)の変動・予兆の検知などを行う自律認知型のレコメンデーションソリューション。

以 上